

## 第 13 回議会報告会 報告書

地域名	建屋地区		
年月日	平成 27 年 10 月 22 日 (木)	会場名	中央区公民館
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 10 分
参加数	男性 12 人	女性 2 人	合計 14 人
班 長	勝地貞一	司会者	勝地貞一
報告者	西田雄一、田村和也	書記	全員
班員名	北尾行雄、西田雄一、田村和也、勝地貞一		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>①南但馬有機集配センターの活用とはどういった構想で進められるのか。</p> <p>②おおや堆肥センターのストックヤードが唐川にあり、堆肥が建屋地区にあるので、当地区の人には唐川のストックヤードで堆肥を販売することができないか。自治協議会等に置くことも検討したが、臭いがする等の課題もあり、実現していない。</p> <p>③合併して 10 年が経過し、堆肥を使えと言われるが、大屋でできた堆肥は堆肥センターが主に、大屋を中心に散布し、旧養父町は養父の酪農組合が散布といったように、旧町の組合が権限を持っている状況で、旧町のこだわりがあるように思える。養父市全域に同じ品質の堆肥を出していくよう、品質管理も含めて統一の方向での取り組みが必要ではないか。</p> <p>④八鹿病院は、病院としての機能が果たされていない。緊急になると豊岡病院に全て運ぶ。診療体制を真剣に確立してほしい。</p>	<p>①唐川と朝来を農道でつなぐ目的で、南但馬有機集配センターをつくった。その後、道をつなぐということが前向きに進んでいないが、堆肥を置くということで牛糞置き場として設置している。 大屋堆肥センターが赤字でうまくいっていないので、住民の皆様にご意見を伺って動いてくださいと言っている。</p> <p>②以前からその話は出ているようだが、再度持ち帰り調査し後日回答する。</p> <p>③大屋堆肥センターのできた時点の申し合わせが、地元地区等との調整が未だ難しいと聞いている。議会も堆肥を一本化し皆に販売してはどうかと提案しているが、そこまでに至っていない。持ち帰り調査して後日回答する。</p> <p>④八鹿病院は医師不足の中、少ない人数で昼に勤務をしながら当直もこなさなければならない。八鹿病院の先生は体がよく持つなあと言われているほど、頑張ってもらっている。医師をふやさねばと招聘に努力してもらっている。</p>	

市 民		対 応
意見交換会での質疑	<p>①施設入所に要介護1・2が対象にならないようなことになり、負担金が多くなる。養父市は国の方針に沿っていくのか。</p> <p>②朝倉山椒栽培の奨励を3、4年前から行っている。つくった品物をどうして販売するかについて、JA任せになっている。JA任せにするのではなく、市が安定した値段で販売をすべきでないか。</p> <p>③過疎農道の建設について、建屋地域活性化委員会を設立し、長野に看板を立て頑張っている。長年の悲願である。実現に向け国・県にご尽力をお願いしたい。</p>	<p>①介護保険制度では要介護1・2は介護施設に入れない。原則自宅介護となっている。</p> <p>②やぶパートナーズが主になって朝倉山椒を世界に広げることに努めており、今後広がっていくことを期待している。</p> <p>③緊急・救急の際は、大屋の消防署より生野の消防署からのほうが早く駆けつけてくれる。命をつなぐ道路としての役割を持っているし、大屋・関宮の観光にも役に立つので必要だと思っている。</p>
その他 (提言など)	なし	なし
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成 27 年 11 月 11 日

報告者 2 班 班長 勝地 貞 